

第1回体力・運動能力向上の場に関する分科会 会議録

【日時】

令和2年1月30日（木）午後3時～午後3時50分

【場所】

ニコニコこども館 3階研修室

【次第】

- 1 開会
- 2 会長の選任
- 3 議事
(1) 体力・運動能力向上の場について
- 4 その他
- 5 閉会

【出席委員】

5名（敬称略）

大川原 順一、佐藤 真澄、濱津 真紀子、福内 浩明、箭内 孝仁

【欠席委員】

4名（敬称略）

佐藤 一夫、隅越 誠、山田 祐陽、吉川 和夫

【事務局職員】

9名

こども未来課：橋本 仁信（次長兼課長）、穴戸 正浩（課長補佐）、石田 佐和子（こども企画係長）、今井 辰哉（こども企画係主任）、木村 祥一（こども企画係主査）
こども支援課：伊藤 克也（課長）、佐藤 嘉洋（課長補佐）、佐藤 香（主任主査兼管理係長）、岩崎 浩史（子育て支援係長）

【配布資料】

- ・子ども・子育て会議「体力・運動能力向上の場」分科会
- ・子どもの遊び場一覧

1 開会

（穴戸補佐）

定刻となったので、ただいまより「第1回体力・運動能力向上の場分科会」を開催する。

本日は9名中5名の委員が出席しており、郡山市子ども・子育て条例第5条第2項の規定の準用により、会議が成立していることを報告する。

2 会長の選任

（穴戸補佐）

続いて、会長の選任に移るが、郡山市子ども・子育て会議条例第6条第3項では「会長は委員の互選によって定める」と規定されている。

会長の選任については、どのようにしたらよいかお諮りする。

【委員から事務局案を伺う声があり、事務局：橋本次長から会長に大川原順一委員を選任する案が提示される。】

(穴戸補佐)

ただ今、事務局から案が提示されたがどうか？

【委員から「異議なし」の声がある。】

(穴戸補佐)

異議なしとのことなので、会長には大川原委員が選任された。
ここで、大川原会長から御挨拶をいただく。

【大川原会長から挨拶がある。】

(穴戸補佐)

なお、郡山市子ども・子育て会議条例第6条第5項では「会長が欠けた時はあらかじめ会長が指名する者が職務を代理する」と規定されているが、こちらはその都度指定していただくこととしてよろしいか？

【委員から「異議なし」の声がある。】

3 議事

【議事の前に、穴戸補佐から本日配布した資料の確認がある。】

(穴戸補佐)

それでは「議事」に移るが、以降の会議の進行については、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定を準用し、大川原会長に議長をお願いする。

(大川原会長)

それでは、議長を務めさせていただく。
まず、本日の分科会の目的について、事務局から説明願う。

【事務局：橋本次長から説明がある。】

(大川原会長)

続いて「(1) 体力・運動能力向上の場について」事務局から説明願う。

【事務局：石田係長から、資料に沿って説明がある。】

(大川原会長)

ただいまの事務局からの説明について、質問や意見はあるか？

(福内委員)

お母さんたちの間で、ペップキッズが廃止になるのではといううわさが流れていて心配しているようだが、どうなのか。

(伊藤課長)

全くそのようなことはない。もともとの建物が古く改修をしていることや、復興財源を活用していることなどから、そのような話がでたのでは。

ペップは年間30万人の来館者があり、夏休みや年末年始期間は県外からもおいでいただいている。市で実施したネットアンケートで「郡山市の施設といえば」の問いに対しペップキ

ツズとの回答が上位に入ったこともあり、廃止という話は一切出ていない。

(福内委員)

お母さん方が今一番欲しがっているのは、本宮市のみずいろ公園や須賀川市の Tette のようなところ。(福島市)松川町に作ったタワースライダーもよい。郡山には目玉となる施設が少ない。

(橋本次長)

そのようなご意見も含めて分科会の中で話し合っていきたい。

(大川原会長)

会長が質問してはいけないのか？ 【事務局から「どうぞ」】

資料1に記載されている目標値とは、何を基準に設定されたのか。

また、遊び場が国庫補助の財源で行っているとのことだが、今後見直しがかかると先ほど説明であったが、その対策はどう考えているのか。

(石田係長)

目標値は、2013年の数値を基準にしている。

(橋本次長)

もう一点については、今回の分科会のテーマでもあるが、詳細は第2回で説明させていただく。

(箭内委員)

この分科会の目的は、施設の見直しをするから考えてくれということなのか、単純に遊び場について考えてくれということか、また資料の中に除染について出てくるが、公園にも(廃棄物が)一時保管されていたがどうなのか。

これまでの成果についてだが、遊び場だけでなく、家庭そして学校も関係するのでは。小中学校においての部活とかも影響あるだろうし、教育委員会との連携が必要なのでは。

以上のようなことと、(遊び場の)国からの補助がなくなるからどうするか、という問題は別なのではないか。

(橋本次長)

この分科会で議論していただきたいのは、資料にあるペップキッズとその他の遊び場の5か所についてである。テーマとしてはまず5か所の遊び場について、震災直後と現在とで(環境)状況が違ってきたが、今後こういう遊び場にしたいほうがよいのではという意見をいただきたい。そして次回説明する、財源を含めた運営的な状況について、今後の方向性を皆様からご意見いただきたい。この2点以外に委員の皆様からこうしたほうが良いという意見があれば、一旦預らせていただき関係機関と調整することも考えていきたい。

(箭内委員)

5か所について、ということは分かった。その一方で、現在も公園に除染廃棄物が埋められているが、いつまでこの状態なのか。また、荒れ放題の公園もあり、それは今後どうしていくのか。町内会との連携も重要だが、子どもたちを遊ばせるにはきれいにしなければ。そして遊具といった施設以外の部分についても考えていかないと。

体力向上のため子どもを家の近くの公園で遊ばせるにはどうしていくかを考える必要がある。

(大川原会長)

近所の公園という話があったが、遊具がさび付いているという現状もある。その前に、外で遊ぶ子どもがいない。公園の活用を促すようなことも必要なのかなと思う。

(濱津委員)

遊び場のスタッフについて、資格を持っている方がいるのか。

(伊藤課長)

ペップキッズについては、プレイリーダーの研修を毎月行い、スタッフの資質向上を図っている。

(石田係長)

4か所の遊び場の見守りスタッフについては、保育士の資格がある者または見守り保育の経験がある者となっている。

(佐藤委員)

八山田の遊び場では、5・6年生の利用が多いと聞いた。保育士の資格だけでなく、小学生の相手をした経験がある方でもよいのでは。

(濱津委員)

子どもの運動能力を上げるという目的だが、運動機会は減っていつている。原因は分析したのか。こういう施設は運動したい子が来る。そうじゃない子はどうすれば運動能力を上げることができるかということを考える必要がある。

(石田係長)

食事や運動についてのアンケート調査の中に「運動への意識と運動時間」という項目があり、運動の好き嫌いと得意不得意を聞いている。好きー得意、好きー不得意、嫌いー得意、嫌いー不得意 に分かれた結果が出ているが、その分析はまだ行っていない。

(濱津委員)

子どもが学校から持ってきたアンケートを見たが、肥満の子が増えてきているかという問題に切り込んだ内容にはなっていないという印象。子どもの遊びたいというニーズを調べるのも行ったほうがよい。

(大川原会長)

今まででた疑問点を次回の分科会までに調べておいていただければ。

(橋本次長)

調べられる部分については調べ、次回報告とさせていただきます。

(大川原会長)

ほかに、委員の皆様から何かあるか？

【特になし。】

(大川原会長)

全ての議事が終了したので、議長の職を解かせていただく。

4 その他

(穴戸補佐)

その他について何かあるか？

【特になし】

5 閉会

(穴戸補佐)

以上をもって、会議を終了する。

以 上